

令和6年度  
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

## 1 会議に関する事項

### (1) 令和6年度第1回理事会

#### ア 日時及び場所

令和6年5月28日(火) 10時～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和4年度決算報告の修正について
- ・議案第2号 令和5年度事業報告及び決算報告について
- ・議案第3号 令和6年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

### (2) 令和6年度第1回評議員会

#### ア 日時及び場所

令和6年6月25日(火) 10時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・報告事項 令和5年度事業報告について
- ・議案第1号 令和4年度決算報告の修正について
- ・議案第2号 令和5年度決算報告について
- ・議案第3号 理事及び監事の選任について
- ・議案第4号 評議員の選任について

### (3) 令和6年度第2回理事会

#### ア 日時及び場所

令和6年6月26日(水) 14時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・議案第1号 理事長の選定について

### (4) 令和6年度第3回理事会

#### ア 日時及び場所

令和6年8月14日(水) 書面開催 (※理事全員の同意による決議の省略)

#### イ 議事

- ・議案第1号 会長の選任について
- ・議案第2号 令和6年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

### (5) 令和6年度第2回評議員会

#### ア 日時及び場所

令和6年8月21日(水) 書面開催 (※評議員全員の同意による決議の省略)

#### イ 議事

- ・議案第1号 監事の選任について

### (6) 令和6年度第4回理事会

#### ア 日時及び場所

令和7年3月10日(月) 14時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和7年度事業計画及び収支予算について

- ・議案第2号 事務局職員の任用について
- ・議案第3号 令和6年度第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(7) 令和6年度第3回評議員会

ア 日時及び場所

令和7年3月19日(水) 10時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・議案第1号 令和7年度事業計画及び収支予算について

## 2 沖縄伝統芸能等の公演

### (1) 自主公演の開催【実績：24公演38回（計画：23公演37回）】

定期14公演20回、企画4公演4回、研究1公演1回、普及5公演13回を実施した。  
（カッコ内は年度計画の数値）

#### ア 日本芸術文化振興会からの受託事業公演実績

区分	公演名	公演数	回数
定期公演	組踊	3 (3)	3 (3)
	琉球舞踊	7 (7)	11 (11)
	三線音楽	1 (1)	1 (1)
	沖縄芝居	2 (2)	4 (4)
	民俗芸能	1 (1)	1 (1)
		<b>14 (14)</b>	<b>20 (20)</b>
企画公演	新作組踊	1 (1)	1 (1)
	アジア・太平洋地域の芸能	1 (1)	1 (1)
	本土の芸能	1 (1)	1 (1)
	その他	1 (1)	1 (1)
		<b>4 (4)</b>	<b>4 (4)</b>
研究公演	1838年の史料に拠る組踊「大川 敵討し 一糺しの場より敵討まで」	1 (1)	1 (1)
普及公演	組踊鑑賞教室 ※	1 (1)	1 (1)
	琉球舞踊鑑賞教室	1 (1)	1 (1)
	沖縄芝居鑑賞教室	1 (1)	4 (3)
	組踊の世界	1 (1)	1 (1)
		<b>4 (4)</b>	<b>7 (6)</b>
合 計		<b>23 (23)</b>	<b>32 (31)</b>

#### イ 沖縄県からの受託事業公演実績

普及公演	組踊鑑賞教室 ※	1 (1)	6 (6)
		<b>1 (1)</b>	<b>6 (6)</b>
合 計		<b>1 (1)</b>	<b>6 (6)</b>

※令和6年度計画における普及公演の公演数・公演回数（4公演12回）のうち、組踊鑑賞教室（1公演7回）については日本芸術文化振興会及び沖縄県からの受託事業分をまとめて1公演として含めて承認されましたが、実績では、それぞれ分けて報告することとしています。

そのため、合計24公演となっています。

※（【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は後記

### (2) 実施状況

#### ア 定期公演

組踊、琉球舞踊、三線音楽、沖縄芝居及び民俗芸能の構成により上演する。伝承された古典の原点を尊重することを基本に、現代においても理解されやすい、観客のニーズに合った多様な演目の上演及び演出や、観客の満足度を高める公演を行った。

#### (ア) 組踊公演

劇聖玉城朝薫作品「銘苺子」、「女物狂」のほか、組踊の中でも数少ない恋

愛が描かれた平敷屋朝敏作品「手水の縁」、平成21年に組踊保存会によって復活上演され、国立劇場おきなわの自主公演としては初となる「具志川大軍」を上演した。

(イ) 琉球舞踊公演

「うりずんの舞」、「打組舞踊の会」、「新進男性舞踊家の会」、「琉球舞踊鑑賞会」、「男性舞踊家の会」、「琉球舞踊特選会」、「創作舞踊の会」の公演を通じて、若手、中堅から国指定重要無形文化財琉球舞踊保持者による古典舞踊や雑踊、創作舞踊を幅広く上演した。

(ウ) 三線音楽公演

「古典音楽の美」で人間国宝大湾清之の独唱をはじめ、古典音楽の名曲・復曲・舞踊曲まで古典音楽の世界を存分に堪能していただいた。

(エ) 沖縄芝居公演では、組踊「執心鐘入」を題材に戦前に生み出された歌劇「恐ろしき一夜」、北谷言葉の台詞が味わい深い「朝顔夕顔」、琉球王国時代末期に琉球王国の存続を願って戦い続けた亀川親方を描く、当劇場で初披露となる「東立ち雲」を上演した。

(オ) 民俗芸能公演では、沖縄のそれぞれの地域で先祖代々引き継がれてきた多様な民俗芸能の中から、本島北部「やんばる」地域で伝承されてきた独自色の強い組踊や民俗舞踊を紹介した。

イ 企画公演

琉球箏曲を主軸に、独唱・斉唱・舞踊など多彩な演目で構成する「琉球箏曲の美」、第三回新作組踊戯曲大賞に入賞した新作組踊「玉掛けの糸」と「恋染の手巾」、アジア太平洋の芸能では「韓国の梵唄と日本の語り」と題して女文楽・筑前琵琶・韓国梵唄を、また、本劇場の秋定番となった「国立劇場寄席」を上演した。

ウ 研究公演では、1838年の史料に基づき、特に舞台構造と衣裳について復元して琉球王国時代の演出に少しでも近づくことを目指して「1838年の史料に拠る組踊『大川敵討 一組の場より敵討まで一』」を上演した。

エ 普及公演では、組踊の魅力を伝え、初めて鑑賞する方にも楽しんでいただけるよう組踊の世界を案内しながら「執心鐘入」、琉球舞踊の入門編となる「琉球舞踊鑑賞教室」、沖縄芝居を初めて鑑賞する方にとって親しみやすい「松の精」、組踊の魅力を次世代へ伝え、新たな観客層の育成を図るため児童生徒でも親しみやすい演出を凝らした組踊鑑賞教室「万歳敵討」を上演した。併せて、外国人向けの公演「はじめての組踊 ～Discover KUMIODORI～」を実施した。

(3) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演の広報・宣伝活動の推進

・公演ごとにチラシやポスターを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、自治会、図書館等へ配布を行った。（年間延べ約6,900箇所に対し約90,000枚配布）（チラシ・ポスター 月約17,000枚作成）

イ 看板、ポスター等掲出

・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、

芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄等での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」、「PRTIMES」 「うらそえナビ」
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」

(イ) ラジオのスポットCMの実施

令和6年10月4日から同年11月1日までの間、県内民放3局にて、琉球歴史文化の日記念イベントである普及公演「組踊鑑賞教室『万歳敵討』」に向けたスポットCMを実施した。

エ その他

(ア) 公演解説書「ステージガイド」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 令和6年度自主公演年間予定表の日本語版及び多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、ホームページへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(エ) 2025年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配付を行った。

(オ) 外国人向け多言語の公演情報をホームページに掲載した。

(カ) 県内の自治会を始め、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ自主公演年間リーフレットを送付した。（年間約600箇所、約11,500枚）

(4) 貸切バス費用助成事業

（団体バス助成サービス事業（執行額1,397千円）

観劇の際に利用する貸切バスの費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。（6件19台助成1,074人利用）

(5) 「第11回創作舞踊大賞」の公募・選考・表彰

沖縄の伝統芸能の保存振興を図るため、新たな作品の創造を目指して「創作舞踊（琉球舞踊）」を6月から募集した（応募期間：6/20～8/23）。

◇大賞 島尻紀希 作品「遊びくぐつ」

◇奨励賞 新崎恵子 作品「音の響むまでいア！躍れ！」

◇奨励賞 喜屋武愛香 作品「マブイ詩」

◇佳作 大湾三瑠 作品「露ころろ」

(6) 県外における公演

県外公演（沖縄県担い手確保・県外PR事業）

（執行額5,395千円：内県負担額3,515千円）

- ・祝国立劇場おきなわ開場20周年 春秋座特別公演「琉球芸能」

主 催：京都芸術大学 舞台芸術研究センター

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

会 場：京都芸術劇場 春秋座（京都芸術大学内）

日 時：令和6年6月1日（土）14:00

演 目：琉球舞踊4題、沖縄芝居喜歌劇「想い」、組踊「女物狂」

入場者数：463人（総席数 701）

予 算：沖縄県担い手確保・県外PR事業委託業務

そ の 他：国立劇場おきなわの自主公演のチラシを配布

(7) 組踊ワークショップ等の実施

ア 県内ワークショップ

沖縄の伝統芸能文化に対する理解や親しみを深めることや組踊の認知度を上げるため、小学校や観光客が利用する県内施設において、組踊等の実演や所作の体験、歴史などの講義を行った。

イ 県外ワークショップ

京都芸術劇場（京都芸術大学内）において、「琉球芸能 春秋座特別公演（6/1）」の関連企画として、一般及び京都芸術大学の学生向けに「琉球芸能ワークショップ」を開催した。

### 3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

- (1) 研修の実施（第七期組踊研修：令和6年4月～令和7年3月）

組踊（立方・地方）：第七期（8名）の2年目の研修を実施。

立方4名及び地方4名（歌三線4名）

- (2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢18名）

- (3) 養成状況

ア 主な授業

組踊実技（立方、三線）、副実技（琉球舞踊、箏等）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、作品研究、琉球古典語基礎、公演見学、研修発表会

イ 授業回数 合計491回

- ・組踊実技の実施（90分の255回 立方119回・地方136回）
- ・副実技の実施（90分の50回）
- ・基礎実技の実施（90分の126回）
- ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の34回）
- ・鑑賞・見学研修の実施24回
- ・研修発表会の実施2回

ウ 休暇等

春季休暇 令和6年4月1日～令和6年4月11日

令和7年3月12日～令和7年3月31日  
 夏季休暇 令和6年8月13日～令和6年8月29日  
 冬季休暇 令和6年12月16日～令和7年1月7日

(4) 研修生発表会の実施

- ア 第七期組踊研修生第3回発表会：令和6年10月10日、国立劇場おきなわ大劇場  
 演 目：組踊「孝行の巻」  
 鑑賞者数：453名
- イ 第七期組踊研修生第4回発表会：令和7年3月6日、国立劇場おきなわ大劇場  
 演 目：組踊「銘苺子」  
 鑑賞者数：468名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

- ア 組踊研修講師会議の実施（年間3回）
- イ 養成事業委員会の開催  
 組踊養成事業に関する現状報告及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を令和7年2月20日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第14回発表会：令和6年11月30日、国立劇場おきなわ大劇場  
 演 目：琉球舞踊（作田、ゼイ、取納奉行）、組踊「雪払い」  
 鑑賞者数：318名

**4 調査研究、資料収集・利用業務**

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	29	38	2	69
逐次刊行物	冊	55	117	26	198
公演・演出台本	冊	0	6	21	27
上演資料集	冊	0	0	2	2
合 計		84	161	51	296

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	4	3	7
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	0	0
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	0	0
DVD	枚	3	17	58	78
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	14	12	0	26
ポスター	枚	0	0	56	56

チラシ	冊	0	0	121	121
展示図録	点	0	1	0	1
冊子	点	0	0	0	0
その他（HDDデータ等）	点	0	0	8	8
合計		17	34	246	297

(2) 上演資料集、古文献等の調査研究等

1838年の史料に基づき、舞台構造と衣装について復元した研究公演「大川敵討」についてまとめた『国立劇場おきなわ上演資料集「大川敵討」』、尚家文書「火花方日記」を基に復元・実演を行ったからくり花火についてまとめた『琉球国のからくり花火』を製作・刊行した。

(3) 展示

沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるため、国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する衣装、小道具などを一般に公開展示した。

期 間	名 称	入場者	内 容
令和6年 4月13日(土) ～6月16日(日) <65日>	第1回企画展 「打組舞踊」	2,485名	宮廷で作られた打組作品をはじめ、姉小舞の名作、民俗芸能としての打組舞踊を紹介し、衣裳・道具類等の展示を行った。
令和6年 7月13日(土) ～9月16日(月) <66日>	第2回 企画展 「子ども琉球舞踊入門」	3,288名	女踊りなど琉球舞踊の主要な分類の特徴や代表的な演目について解説し、衣裳・道具類等の展示を行い、衣裳デザインを楽しめる劇場オリジナルの塗り絵を設置した。
令和6年 10月5日(土) ～12月15日(日) <72日>	第3回 企画展 「大川敵討」	2,870名	12月研究公演「1838年の史料に拠る 組踊『大川敵討 一糺しの場より敵討まで』」における1838年の舞台・衣装復元にあたっての研究成果と、組踊「大川敵討」について紹介した。
令和7年 1月11日(土) ～3月23日(日) <72日>	第4回 企画展 「近現代の男性舞踊家Ⅱ」	2,754名	令和5年4月に開催した企画展「近現代の男性舞踊家Ⅰ」に続き、戦前から戦後にかけて活躍した4名の舞踊家に焦点を当て、衣裳・道具類等の展示を行った。

【4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）】 11,397名（275日間）  
（計画10,000名 達成率114.0%）

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（1回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数 466名。

(5) 公開講座

伝統芸能の理解促進と普及を図るため、以下のとおり伝統芸能に関する公開研究講座を4回実施した。公演記録鑑賞会と同時開催とし映像鑑賞を含めることで観客の興味を喚起した。

- ・「打組舞踊」 令和6年4月17日  
琉球舞踊公演「打組舞踊の会」に先立ち、過去の貴重な公演映像を鑑賞しつつ打組舞踊について学ぶ講座を行った。併せて、公演出演者である金城美枝子他2名をゲストに迎え、当時の様子や作品に込める思いをインタビューした(小劇場/観客数 213名)。
- ・「歌って踊ろう！夏のおけいこ」 令和6年8月1日～3日  
小学生を対象に2日間の舞踊稽古を行い、3日目に発表会を行った。稽古と併せて展示室内で舞踊・組踊についての学習及び映像鑑賞を実施した。(大稽古場/参加者 86名)
- ・「仏教と語りと女性」 令和6年10月17日  
10月企画公演「アジア・太平洋地域の芸能「韓国の梵唄と日本の語り」」に先立つ講座として開催した特別講座「仏教と語りと女性」では、日本の仏教について理解を深め、琵琶法師に始まる語り物の系譜をひもとき、韓国と比較しながら女性との関りについても探究した。(小劇場/観客数 80名)
- ・「大川敵討の衣装復元とからくり花火」 令和7年2月19日  
第1部では研究公演「1838年の史料に拠る 組踊『大川敵討』一糺しの場より敵討まで」の公演映像を鑑賞しながら、上演に当たり衣装の研究・復元に携わった職人・研究者に座談会形式で話を伺った。第2部では、当劇場が復元してきた「琉球のからくり花火」の映像をまとめて鑑賞し、花火師・からくり製作者から創意工夫について話を聞いた。また今年度、長野県上清内路の花火師の協力のもと日本古来の「和火」を用いてより忠実に復元した成果を報告した。(小劇場/観客数 87名)

(6) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

レファレンスルーム利用者：4,158名（うち一般1,555[名]）

映像・音声視聴：3,854件（4,931時間）、映像・音声複製：20件（33時間）

公開資料：平成16年度～令和6年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(7) 展示パネル等の活用

琉球伝統芸能の普及のため、県外公演（京都春秋座「女物狂（6/1）」）に合わせて衣装等の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

令和6年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	8	12	7	12	15	24
演劇	3	5	4	7	7	12

舞 踊	9	19	26	50	35	69
古典音楽	8	13	4	6	12	19
民 謡	2	3	1	2	3	5
民俗芸能	2	3	0	0	2	3
その他（講演会等）	8	8	13	14	21	22
計	40	63	55	91	95	154

【令和5年度実績との比較】

大劇場：件数で7件の増、使用日数で13日の増。

小劇場：件数で8件の減、使用日数で11日の減。

大劇場及び小劇場の合計：件数で1件の減、使用日数で2日の増

イ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	371 件	1,573.5 時間
中稽古室	448 件	1,484.0 時間
第1・2小稽古室	389 件	1,310.0 時間
第2小稽古室	297 件	754.5 時間
第3小稽古室	531 件	1,491.0 時間
第5小稽古室	449 件	1,222.0 時間
第6小稽古室	680 件	2,036.5 時間
交流プラザ・会議室	164 件	711.5 時間
合 計	3,329 件	10,583.0 時間

※令和5年度の実績と比較すると、件数で187件の減、使用時間で271.5時間の減。

【参考】劇場稼働率（自主公演+貸公演等）大劇場69.0%、小劇場40.8%

稽古室稼働率74.9%

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

ア 施設利用の案内をホームページに掲載するとともに、適宜、貸劇場の空き状況を掲載した。

イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを配布し、貸劇場の広報宣伝を行った。

ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。

エ 令和7年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。

オ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷して館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

カ 企業や行政関係者等を対象としたシンポジウム、講演会等の開催に関する施設利用案内を作成し、ホームページに掲載した。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

ア 警備業務請負契約

イ 清掃業務請負契約

ウ 施設運転監視業務請負契約

エ 舞台技術業務委託請負契約

オ 劇場案内等業務委託契約

(2) 機械保守費

ア 中央監視システム保守点検業務請負契約

- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構定期保守点検業務請負契約
- エ 音響設備定期保守点検業務請負契約
- オ 照明設備定期保守点検業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守点検業務請負契約

## 7 「日本博」関連事業

- (1) 自主公演のうち日本博事業として実施した公演
  - ・ 5月11日 定期公演 組踊「銘苺子」「女物狂」
  - ・ 7月13日～14日 定期公演 沖縄芝居「恐ろしき一夜」「朝顔夕顔」
  - ・ 7月20日 普及公演 組踊の世界「執心鐘入」
  - ・ 8月24日 普及公演「琉球舞踊鑑賞教室」
  - ・ 9月12日～14日 普及公演 沖縄芝居鑑賞教室「松の精」
  - ・ 11月2日 普及公演～Discover KUMIODORI～「万歳敵討」
  - ・ 12月14日 研究公演 1838年の史料に拠る組踊「大川敵討ー糺しの場より敵討までー」
- (2) オーディオガイドシステム等の導入  
組踊公演「銘苺子」「女物狂」において2言語（日・英）の字幕タブレット、～Discover KUMIODORI～「万歳敵討」において4言語（日・英・中・韓）のオーディオガイドを導入し、外国人客や初めて鑑賞する来場者などの観劇の手助けとした。
- (3) 公開講座 「大川敵討の衣装復元とからくり花火」令和7年2月19日（4(5)公開講座の再掲）  
第1部では研究公演「1838年の史料に拠る 組踊『大川敵討』ー糺しの場より敵討までー」の公演映像を鑑賞しながら、上演に当たり衣装の研究・復元に携わった職人・研究者に座談会形式で話を伺った。第2部では、当劇場が復元してきた「琉球のからくり花火」の映像をまとめて鑑賞し、花火師・からくり製作者から創意工夫について話を聞いた。また今年度、長野県上清内路の花火師の協力のもと日本古来の「和火」を用いてより忠実に復元した成果を報告した。（小劇場/観客数 87名）
- (4) その他の広告媒体による展開
  - ア 米国等・基地内外向けPR  
主な在沖米軍施設内及び軍属やインバンド、外国人等が多く利用する中部エリアの両替・飲食店・商業施設・観光協会等を中心に配布されるフリーペーパー「VOICE PAPER」に、広告を計6回掲載した。また、Torii MWR-Okinawa-Facebook（MWR:基地内の福利厚生施設の総称）の公式SNS（Facebook）へ広告を計9回掲載した。  
さらに、嘉手納基地内のレストラン・ジム内等20カ所のデジタルサイネージで広告した。
  - イ 台湾・香港向けPR  
訪日中華繁体字圏の旅マエ・旅ナカの情報発信を行っているWEBサイト「ラーチーゴー！日本」へ当劇場の情報を広告掲載した。  
訪沖繁体字圏の旅マエ・旅ナカ情報発信を行っている沖縄旅行ファン沖縄彭大家族Facebookグループへの広告と当該運営事業者の旅行サイトにバナー広告を実施した。

#### ウ 韓国向けPR

旅マエ・旅ナカ情報発信として韓国最大のコミュニティサイト「NAVERカフェ」の中  
中の沖縄情報サイト「ODALカフェ」への広告とバナー広告の掲載を実施した。

#### (5) 首里城での組踊ワークショップの実施

「組踊」のブランディングと知名度向上及び劇場への誘客を図るために、首里城復興イベントとタイアップし、首里城にて英語通訳付きの組踊ワークショップを実施した。

外国人を始めとする観光客や在沖外国人対し、国指定重要無形文化財でありユネスコ無形文化遺産である「組踊」の歴史背景等を実演を交えて伝えることができた。  
(令和6年12月7日(土)参加者84名)

#### (6) バックステージツアーの英語通訳者の配置

夏休みに実施する親子向けの普及公演のチケットを購入したお客さまを対象に実施しているバックステージツアーについて、令和5年度以降は、英語通訳者を配置した。  
(令和6年度実績：123名参加者中、外国人4名 ※令和5年度：95名参加者中、外国人8名)

#### (7) 逐次通訳付き組踊ワークショップの実施

普及公演 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「万歳敵討」にあわせて、逐次通訳付き組踊ワークショップを実施した。

#### (8) おでかけ琉球舞踊鑑賞教室

那覇空港国際線ホールにおいて、英語通訳付きの琉球舞踊ワークショップを開催し、那覇空港国際線を利用していた外国人観光客に対して琉球舞踊及び国立劇場おきなわをピーアールすることができた。(8月22日(木)、23日(金)見学者329名)

### 8 その他必要な業務

#### (1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加に取り組んだ。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会員数	1,992	1,810	1,636	1,670	1,648	1,266	1,345	1,353	1,425	1,430

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月(計4回)に会報を発行し、公演の案内を行った。

#### イ 会員対象催事の実施

会員の満足度向上を図るため、当劇場で活躍する実演家が伝統芸能の魅力や演じるうえで工夫していること等をトーク形式で談話する「ザ・談会Vol.1.5」を開催した。  
(令和7年2月22日/参加人数40名)

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の

「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

- ・ 国立劇場おきなわ開場20周年記念友の会入会キャンペーン(令和5年11月30日～令和6年12月28日)

期間内において、入会金0円、年会費1,050円で入会することができた。(令和5年11月30日～令和6年3月31日：187名，令和6年4月1日～令和6年12月28日：245名)

既存会員から紹介を受けて新規入会があった場合、紹介者会員へ特典として自主公演50%割引券を進呈。(令和5年11月30日～令和6年3月31日：59名，令和6年4月1日～令和6年12月28日：45名)

エ ご紹介キャンペーン(令和7年1月4日～令和7年3月31日)

既存会員から紹介を受けて新規入会があった場合、紹介者会員へ特典として自主公演50%割引券を進呈。(33名)

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	26件	4件	24件	54件
収入	金額	2,000千円	350千円	470千円	2,820千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場等募金を募った。

募金収入	件数	182件
	金額	706千円

(3) 劇場ホームページ等の充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 令和6年度アクセス件数1,533,729件(月平均127,811件、前年比553,034件増)

イ 国立劇場おきなわSNS(YouTube、LINE、Facebook、Instagram、X)を活用し、自主公演やイベントの情報を配信。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
1	定期 公演	4月13日 4月14日	昼 琉球 舞踊	<b>うりずんの舞</b> 【13日】 第一部「作田」「前の浜」「瓦屋」「しゅんどう」 第二部「浜千鳥」「取納奉行」「揚口説」「恋の花」「松竹梅鶴亀」  【14日】 第一部「本貫花」「下り口説」「若衆ゼイ」「かせかけ」 第二部「むんじゅる」「花風」「鳩間節」「加那よ一天川」「大漁」	【13日】 島袋彩乃 高里風花 上原唯 又吉麻乃 謝名堂鼓 與那覇桂子 新里春加 嘉数妃渚子 石嶺桃子 比嘉薫 富原結 知念亜希 島尻紀希 與那國恵 仲村夕乃 水野楓子 儀間佳和子 石嶺李安 ほか 【14日】 仲本和美 屋比久綾乃 仲宗根飛鳥 富山穂乃花 座安杏奈 武富由香 仲宗根朝子 廣山えりか 久志夏季 親盛明佳里 内間絢香 渡真利英里 幸地香奈子 大田舞花 玉山志恵理 宮平奈月 大城未来 大嶺美香 ほか
2	定期 公演	4月20日	昼 琉球 舞踊	<b>打組舞踊の会</b> 第一部 「相合傘」「越来よ一」「打組むんじゅる」「夕千鳥」「仲里節」「花園」 第二部 「かぬ下の浜」「加那よ一天川」「金細工」「南洋浜千鳥」「谷茶前」「川平節」	第一部 新垣舞愛 時田美夢 大屋柚稀乃 新城里季 金城初枝 西銘孝子 前川美智子 平田弘子 金城末子 島尻ひさみ ほか 第二部 下地智子 上原なつき 山田玲子 石川詩子 眞境名結子 仲程めぐみ 仲宗根千秋 伊波正江 ほか
3	定期 公演	5月11日	昼 組踊	<b>「銘苺子」「女物狂」</b> 第一部 「銘苺子」  第二部 「女物狂」	第一部 池間隼人 佐辺良和 上原妃菜 比嘉龍玖 石川直也 下地心一郎 森山和人 伊波心 ほか 第二部 川満香多 新垣悟 富島花音 嘉手苺林一 ほか
4	定期 公演	5月25日	昼 三線 音楽	<b>古典音楽の美～大湾清之 人間国宝認定記念～</b> 第一部 「長伊平屋節」「屋慶名節」「揚七尺節」「白鳥節」「散山節」 「古見の浦節」「小浜節」「與那国しやうんがない節」「コハデサア節・伊江早作田節」 第二部 「通水節」「仲間節」「仲村渠節」「百名節」「さあさあ節」「仲風節」「述懐節」「ことぶき」「諸屯」「赤田風節」	第一部 花城英樹 松本紀 玉城和樹 與那國太介 和田信一 竹田祐規 仲嶺良盛 町田倫士 又吉恭平 大城建太郎 長浜真輝 玉城悟 ほか 第二部 城間盛久 照喜名進 宮城幸子 伊良波ゆかり 山城暁 照喜名康 広 大湾清之 ほか
5	定期 公演	6月8日 6月9日	昼 琉球 舞踊	<b>新進男性舞踊家の会</b> 【8日】 第一部 「かぎやで風」「ゼイ」「かせかけ」「江戸上り口説」「瓦屋」 第二部 「揚作田」「取納奉行」「浜千鳥」「繁昌節」「加那よ一天川」 【9日】 第一部 「稲まづん」「前の浜」「天川」「久志の若按司道行口説」 第二部 「秋の踊り」「加那よ一」「鳩間節」「松竹梅」「海魂」	鈴木祥平 宮里光也 高井賢太郎 伊波心 島袋浩大 平敷屋門勇也 知花令磨 森山康人 嘉数幸雅 山田直季 堀川裕貴 國場海里 伊藝武士 比嘉大志 森山和人 下地心一郎 ほか

6	企画公演	6月29日	昼	琉球 箏曲	<b>琉球箏曲の美</b> 第一部 「ぢやんな節・大兼久節」「干瀬節」「子持節」「稲まつん」「本調子仲風節」「赤田風節」 第二部 「六段菅攪・對馬節」「本赤田花風節」「本散山節」「浜千鳥」「二揚仲風節」「二揚述懐節」「よしやいなう節・立雲節」	第一部 伊良皆順子 中村ゆり子 真喜志美奈子 平良一美 譜久原美和子 比嘉淳江 ほか 第二部 仲村渠道子 外當光子 新屋のり子 根本良子 比嘉シゲ子 宮里秀明 仲嶺貞夫 玉城節子 ほか
7	定期公演	7月13日 7月14日	昼	沖縄 芝居	「恐ろしき一夜」「朝顔夕顔」 第一部 「鷲の鳥」「南洋浜千鳥」 時代歌劇「恐ろしき一夜」 第二部 「日傘踊り」 時代明朗劇「朝顔夕顔」	第一部 廣山えりか 奥平由依 宮崎花澄 仲宗根朝子 平田晴香 赤嶺啓子 平敷屋門勇也 仲嶺夕理彩 具志幸大 堀川裕貴 ほか 第二部 久米ひさ子 上原崇弘 入福浜天乃 伊禮門綾 嘉数道彦 高井賢太郎 東江裕吉 金城真次 ほか
8	普及公演	7月20日	昼	組踊	<b>組踊の世界「執心鐘入」</b> 第一部 「組踊の世界」 第二部 「執心鐘入」	第一部 知花令磨 玉城匠 平良大 仲嶺良盛 第二部 伊波心 國場海里 比嘉大志 下地心一郎 高井賢太郎 堀川裕貴 ほか
9	普及公演	8月24日	昼	琉球 舞踊	<b>琉球舞踊鑑賞教室</b> 第一部 「老人老女」「若衆ぜい」「かせかけ」「上り口説」 第二部 「むんじゅる」「鳩間節」「貫花」「加那よ一天川」「ましゅんく」	第一部 具志幸大 友寄由奈 入福浜天乃 根間彩奈 横田鈴奈 ほか 第二部 玉城秋乃 大城春香 仲村圭央 山崎啓貴 石川詩子 ほか
10	普及公演	9月12日 9月13日 9月14日	昼朝・ 昼昼	沖縄 芝居	<b>沖縄芝居鑑賞教室「松の精」</b> 第一部 「鳩間節」「金細工」 喜劇「くつ」 第二部 時代舞踊劇「松の精」	第一部 下地心一郎 高井賢太郎 東江裕吉 花岡尚子 呉屋かなめ 宇座仁一 伊禮門綾 知花令磨 堀川裕貴 古謝渚 ほか 第二部 東江裕吉 佐辺良和 知念亜希 花岡尚子 呉屋かなめ 伊禮門綾 古謝渚 上原崇弘 ほか
11	企画公演	9月28日	昼	組踊	<b>新作組踊</b> 第一部 「玉掛けの糸」 第二部 「恋染の手巾」	第一部 高井賢太郎 上原崇弘 仲宗根朝子 國場海里 ほか 第二部 玉城匠 石嶺李安 中村知子 高宮城実人 下地心一郎 島袋浩大 ほか
12	定期公演	10月5日	昼	組踊	<b>手水の縁</b> 第一部 「本嘉手久」「しゅんどう」「加那よ一」「護身の舞」「川平節」 第二部 「手水の縁」	第一部 琉球舞踊 島袋秀乃 多和田美幸 宮城尚子 仲程沙耶花 神里優子 儀間美明 阿嘉修 又吉静枝 玉城千枝 ほか 第二部 田口博章 宮城茂雄 宇座仁一

						知花令磨 比嘉克之 ほか
13	企画公演	10月20日	昼	アジア・太平洋地域の芸能	アジア・太平洋地域の芸能 「韓国・梵唄と日本の語り」 第一部 乙女文楽「傾城阿波鳴門」 筑前琵琶「敦盛」 第二部 韓国・梵唄「霊山齋」	第一部 竹本越孝 鶴澤駒清、ひとみ座乙女文楽 奥村旭翠 第二部 太古宗奉元寺霊山齋保存会
14	普及公演	10月30日 10月31日 11月1日 11月2日	朝昼 朝昼 朝昼 朝昼	組踊	組踊鑑賞教室「万歳敵討」 第一部 組踊の楽しみ方 「かぎやで風」「加那よー」 第二部 組踊「万歳敵討」  ※2日はDiscoverKUMIODORI	第一部 仲嶺良盛 玉城盛義 山城亜矢乃 廣山えりか 知念亜希 仲嶺夕理彩 ほか 第二部 伊藝武士 高井賢太郎 上原崇弘 金城真次 山城亜矢乃 廣山えりか 仲嶺夕理彩 島袋浩大 下地心一郎 堀川裕貴 玉城盛義 ほか
15	企画公演	11月16日	夜	本土の芸能	国立劇場寄席 寄席囃子の実演解説、落語、紙切り、太神楽	松尾あさ 柳亭市好 林家楽一 柳亭市馬 柳家喬之助 鏡味仙志郎・仙成 五街道雲助
16	研究公演	12月14日	昼	組踊	1838年の史料に拠る「大川敵討-糺しの場より敵討まで」	嘉数道彦 宮城茂雄 川満香多 宇座仁一 親泊久玄 伊藝武士 堀川裕貴 玉城匠 池間隼人 知花令磨 森山和人 高井賢太郎 下地心一郎 比嘉克之 ほか
17	定期公演	12月21日	昼	琉球舞踊	琉球舞踊鑑賞会 第一部 「若衆こてい節」「稲まづん」 「前の浜」「苧引」「八重瀬の万歳」「本花風」 第二部 「むんじゅる」「早口説」「浜千鳥」「金細工」「与那国旅情」	第一部 饒波園代 孤島丘奈 藤戸絹代 武富美智子 喜久里弘美 城間有希 糸村昌子 新城恵子 ほか 第二部 山川昭子 大城直江 浜川真由美 堀川和美 根路銘広美 嘉手苧幸代 比嘉侑子 新里春加 ほか
18	定期公演	1月11日 1月12日	昼 昼	琉球舞踊	男性舞踊家の会 【11日】 第一部 「かぎやで風」「天川」「伊野波節」「諸屯」 第二部 「前の浜」「花風」「鳩間節」 「汀間当」「松竹梅鶴亀」 【12日】 第一部 「作田」「柳」「本貫花」「かせかけ」 第二部 「湊くり節」「浜千鳥」「ゼイ」 「仲里節」「取納奉行」「加那よー天川」	嘉数道彦 宮城茂雄 佐辺良和 田口博章 東江裕吉
19	定期公演	1月19日	昼	民俗芸能	やんばるの芸能 「路次楽」「女手踊り」「打組加那よー」「組踊高山敵討」	湧川路次楽保存会 東村有銘区 名護市数久田区 本部町渡久地区

20	定期公演	2月8日 2月9日	昼	琉球舞踊	<b>琉球舞踊特選会</b> <b>【8日】</b> 第一部 「渡りざう・瀧落菅攪・船頭節」 「作田」「高平良万歳」「諸屯」 「前の浜」「伊野波節」 第二部 「むんじゅる」「揚作田」「打組日傘」「取納奉行」「鳩間節」 <b>【9日】</b> 第一部 「天川節・ちるれん節」「かぎやで風」「前の浜」「柳」「下り口説」 第二部 「花風」「むんじゅる」「浜千鳥」「鳩間節」「南洋浜千鳥」	<b>琉球舞踊特選会</b> <b>【8日】</b> 第一部 赤嶺弘子 玉城弥生 安慶名久美子 金城桂子 米須好子 當山文子 仲田美智子 ほか 第二部 安座間明美 宮城能造 比嘉涼子 我那覇則子 山城洋子 ほか <b>【9日】</b> 第一部 西江喜春 中村一雄 前川朝文 玉城正治 金城清雄 ほか 第二部 皆川律子 金城光子 島袋君子 根路銘広美 古謝弘子 ほか
21	定期公演	2月22日	昼	組踊	<b>具志川大軍</b>	宇座仁一 石川直也 伊藝武士 高井賢太郎 玉城盛義 金城陽一 國場海里 福原佑一朗 大浜暢明 嘉数幸雅 宮城茂雄 堀川裕貴 親泊久玄 ほか
22	定期公演	3月15日	昼	琉球舞踊	<b>創作舞踊の会</b> 第一部 「露こころ」「マブイ詩」「音の響むまでいア!躍れ!」「遊びくぐつ」 第二部 「老松」「うりずんの美童」「銭鳴りひゃー」「仲島の浦」「胡蝶の舞」「恋の花」	第一部 大湾三瑠 喜屋武愛香 奥本美紅 喜屋武和栞 崎山紗未 宮里夏佳 花城富士子 吳屋かなめ ほか 第二部 稲福明日香 佐渡山沙紀 與那嶺なつき 高橋舞 照屋美奈子 米須祥乃 宮城りつ子 ほか
23	定期公演	3月22日 3月23日	昼 昼	沖縄芝居	<b>史劇「東立ち雲」</b>	東江裕吉 知念亜希 上原崇弘 高井賢太郎 堀川裕貴 森山和人 高宮城実人 赤嶺啓子 奥平由依 小嶺和佳子 佐辺良和 安次嶺利美 金城真次 玉城匠 嘉数道彦 宇座仁一 具志幸大 花岡尚子 下地心一郎 ほか